



ユーザーマニュアル

エレベーター編



この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

特に『安全上のご注意』はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

取扱説明書は常にご覧いただけるよう、大切に保管してください。

目次

1.	はじめに	3
2.	安全上のご注意	3
3.	各部名称	5
3.1.	乗用エレベーターの場合	5
3.2.	荷物・自動車用エレベーターの場合	8
3.3.	非常用エレベーターの場合	10
4.	仕様一覧	12
4.1.	標準仕様	12
4.2.	オプション仕様	13
5.	ご利用方法	14
5.1.	乗用または人荷用エレベーターの場合（方向性乗合全自動方式）	14
5.2.	荷物・自動車用エレベーターの場合（単式自動方式）	15
5.3.	非常用エレベーターの場合（非常運転）	16
6.	かご内操作盤スイッチボックス	17
7.	緊急時の対応（地震・火災・停電時）	18
7.1.	地震発生時	18
7.2.	火災発生時	19
7.2.1.	火災時管制運転付の場合（オプション）	19
7.2.2.	火災時管制運転無しの場合	19
7.3.	停電発生時	20
7.3.1.	停電時自動着床運転ありの場合（オプション）	20
7.3.2.	停電時自動着床運転なしの場合	21
8.	閉じ込め発生時	22
9.	保守管理と手入れ	23
9.1.	保守管理	23
9.2.	手入れ	24
10.	こんなときは	25
11.	昇降機管理の関係法令	26
12.	保守会社へ連絡する場合	27

1. はじめに

この取扱説明書は、主にビルを管理する方が当社製エレベーターを運行管理する時の取扱い方法について説明しています。

運行管理者の方は、この取扱説明書をお読みにになり、適正な運行管理を行ってください。

また、一般利用者に対して、正しい乗り方をご指導くださるようお願いいたします。

2. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例



注意を促す「警告」内容のものです。



操作を制限する「禁止」内容のものです。



必ず実行して頂く「指示」内容です。

エレベーターを安全に正しくご利用頂く為に、管理者および運転者は、一般利用者に対して正しい乗り方をご指導下さるようお願いいたします。



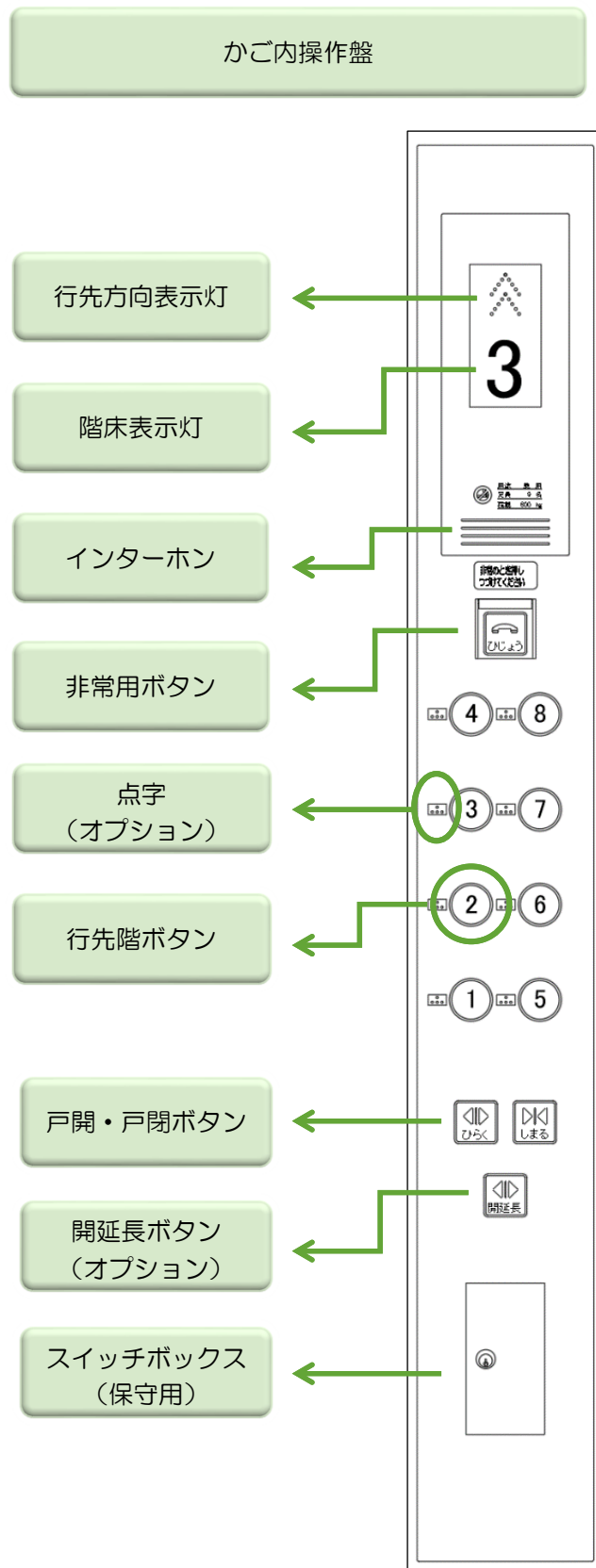
- ① かご内は禁煙です。
火災の恐れがあります。
- ② 戸によりかかったり手をついたりしないでください。
戸袋に手や衣服等を引き込まれることがあります。
- ③ 幼児には必ず保護者が付きそって下さい。
重大なけがや、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ④ かごおよびエレベーターホールで遊ばないでください。
重大なけがや、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ⑤ 地震、火災等非難の時はエレベーターを使用しないでください。
かご内に閉じ込められる恐れがあります。
- ⑥ 乗場の戸を開く鍵は、不用意に使用しないでください。
昇降路の中に転落する恐れがあります。
- ⑦ かご操作盤下部の保守用スイッチは、必要時以外使用しないでください。
重大なけがや、思わぬ事故につながる恐れがあります。



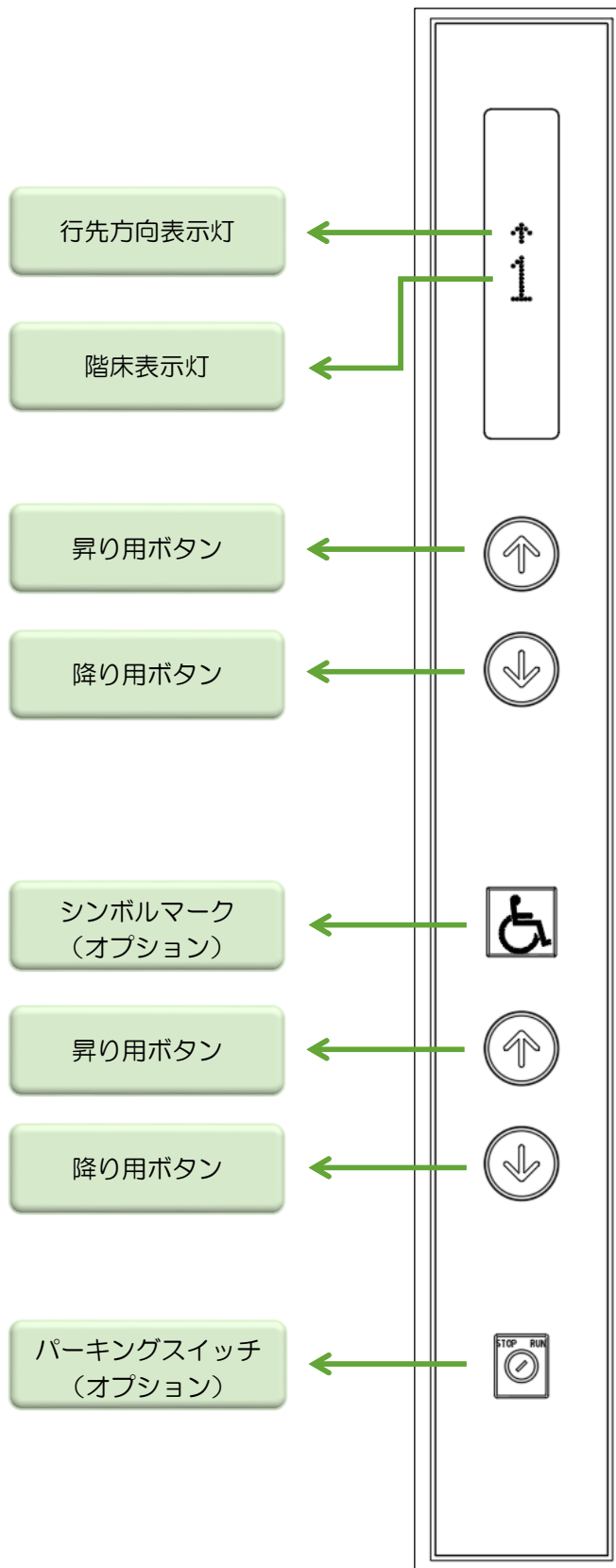
- ① 定員および積載量をおまもりください。
積載量を超えた時は、乗り過ぎ警報ブザーが鳴り、戸が開いたままになります。
- ② 走行中にかご内で飛び跳ねたり、かごを揺らしたりしないでください。
安全装置が作動して、途中で止まる場合があります。
- ③ 関係のないボタンには手を触れないでください。
他の利用者の迷惑になります。
- ④ 敷居の溝やかごの隙間に、ゴミを入れないようにしてください。
かご内に閉じ込められたり、故障につながる恐れがあります。
- ⑤ 昇降路に水が流れ込まないようにしてください。
ピット内に水が溜まると、故障の原因になります。

3. 各部名称

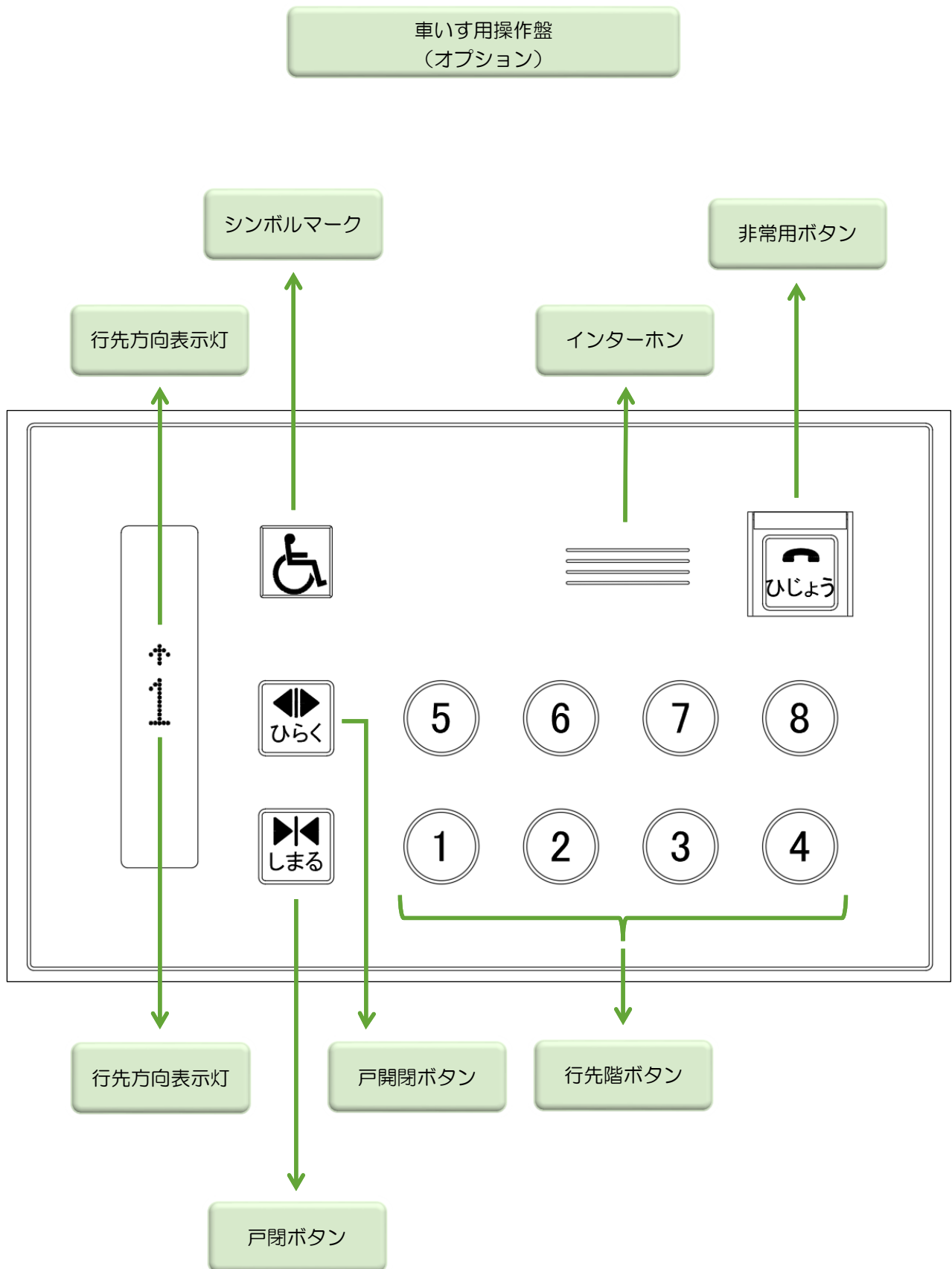
3.1. 乗用エレベーターの場合



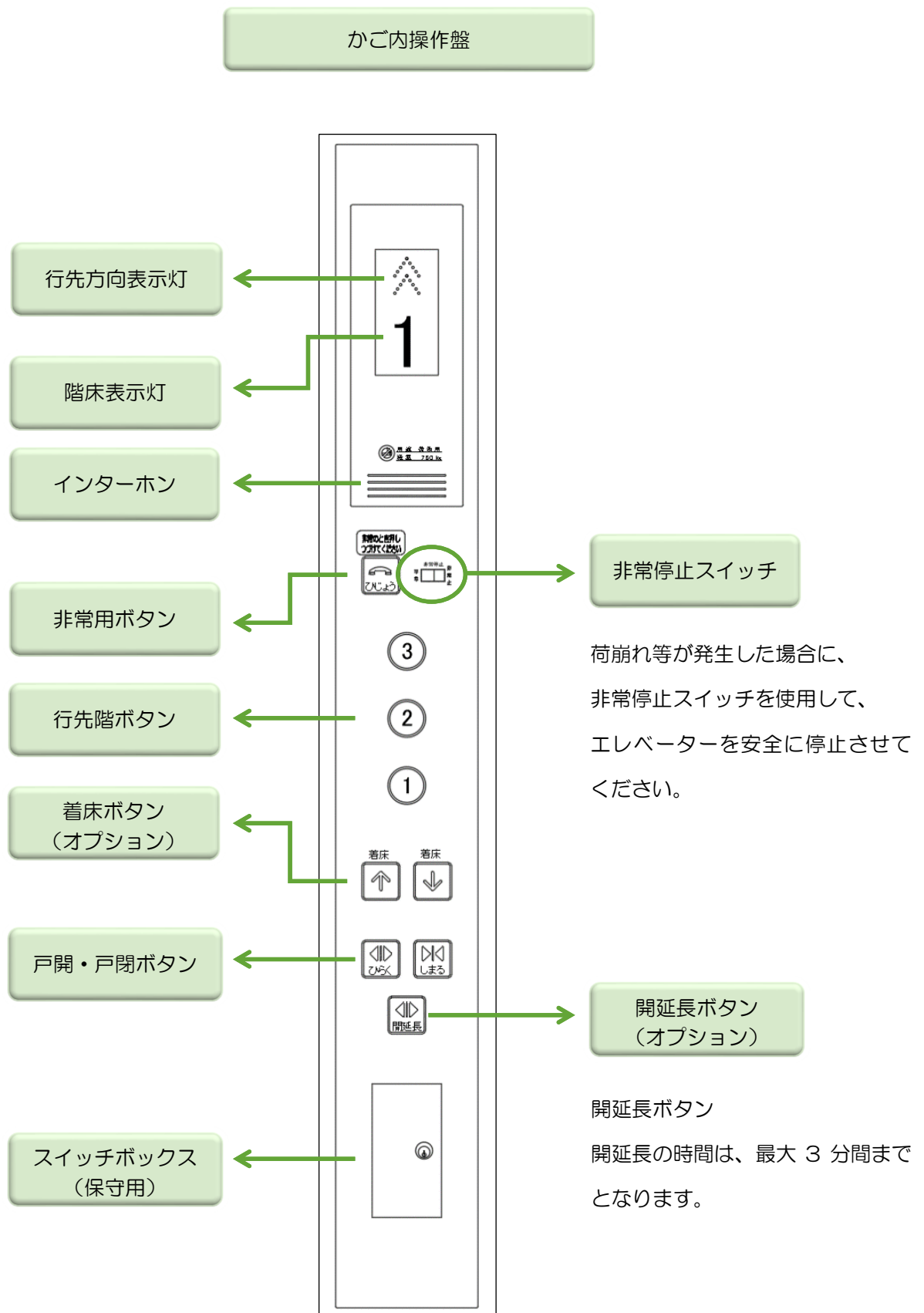
乗場押しボタン&インジケータ



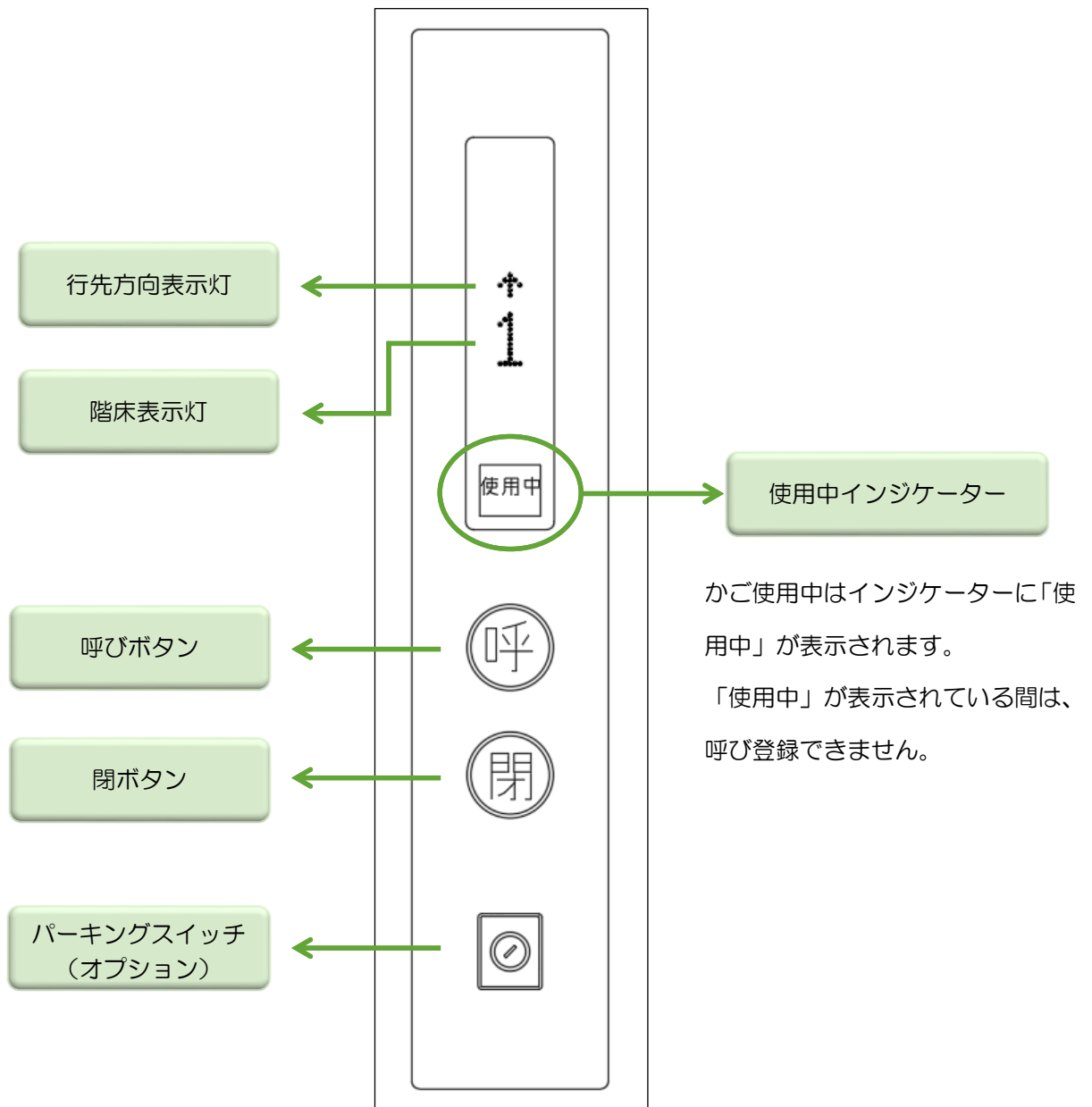
※パーキングスイッチをSTOPにすると基準階で待機します。



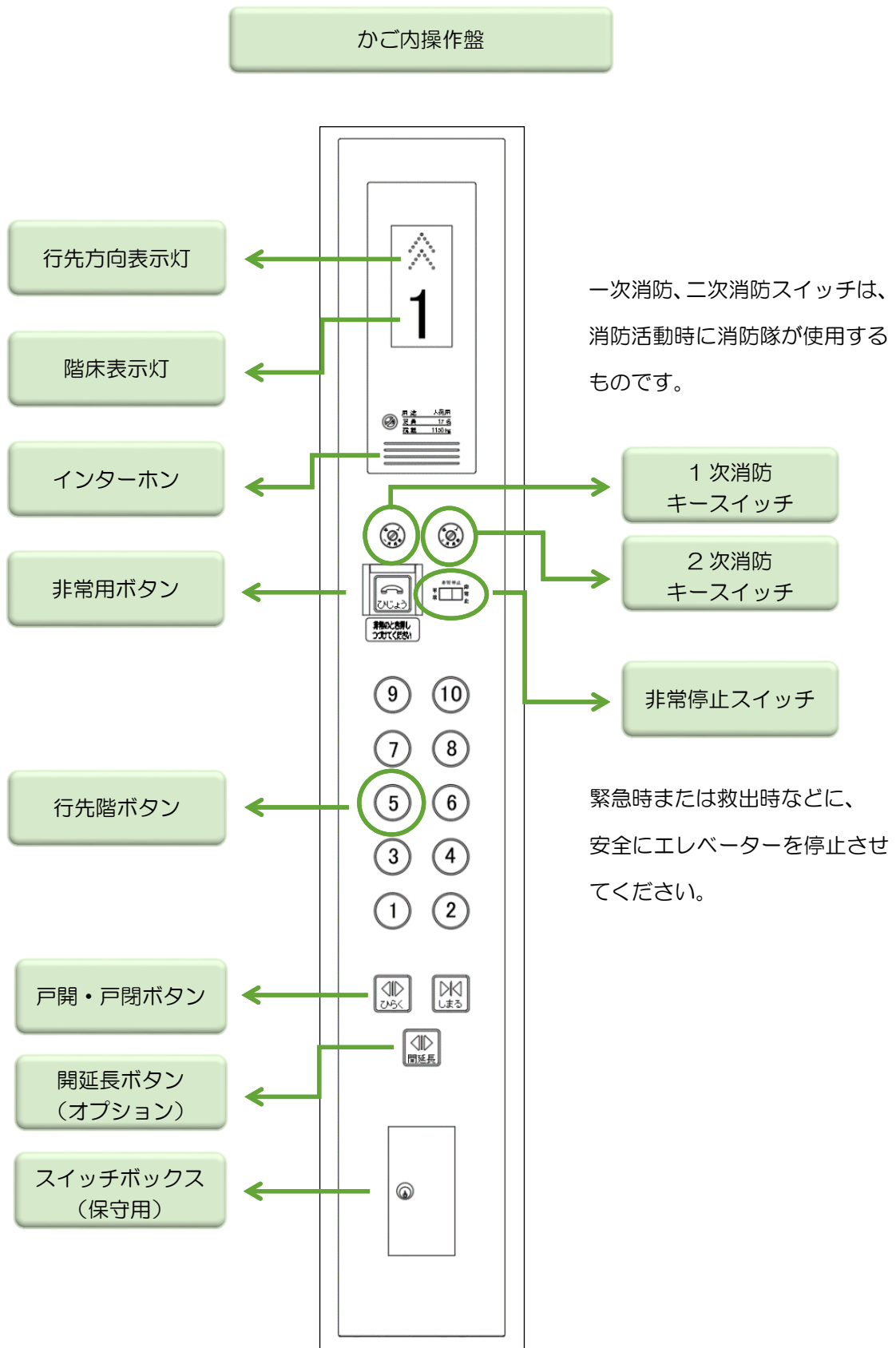
3.2. 荷物・自動車用エレベーターの場合



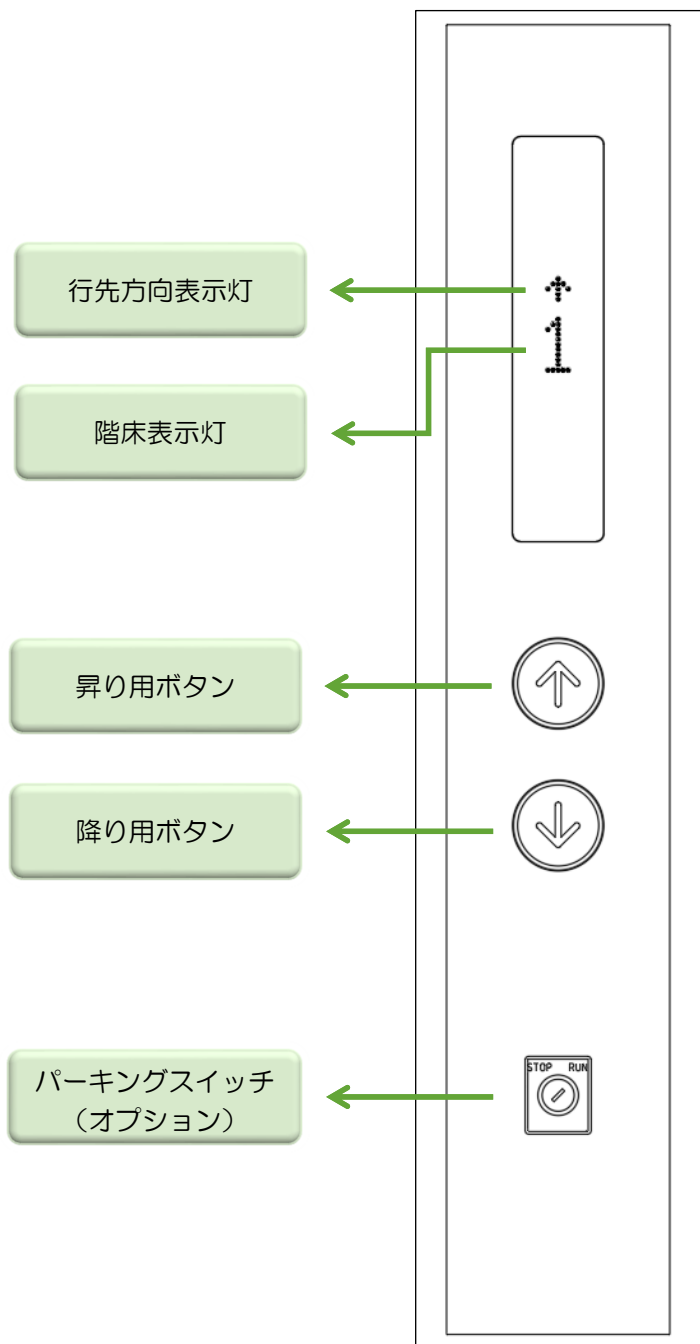
乗場押しボタン&インジケータ



3.3. 非常用エレベーターの場合



乗場押しボタン&インジケータ



4. 仕様一覧

4.1. 標準仕様

セーフティシュー	閉まりかけた戸に人や荷物が挟まれた場合、戸の先端のバー（検出器）で検出し、戸を開きます。
地震時管制運転	地震を感知し、最寄階に自動で到着し安全に停止させます。
乗り過ぎ検出	定員（積載量）を超えた時、警報ブザーで乗り過ぎをお知らせします。
最寄階救出運転	運転中に何らかの理由で停止した場合、安全上問題が無ければ最寄階に低速で到着し戸を開きます。
停電灯バッテリー装置	停電が発生した場合、バッテリーでかご内の停電灯を点灯及びインターホンを30分程度持続させます。
外部連絡装置 （外部インターホン）	かご内に人が閉じ込められた場合、[ひじょう] ボタンを押し続けることで、かご内と管理室で同時通話できます。
外部連絡装置 （SECホン）	[ひじょう] ボタンを押し続けることで（10秒程度）、外部インターホンの周りに人がいない場合、弊社緊急監視センターと同時通話できます。
省エネ機能	一定時間エレベーターを使用しない場合、かご内換気扇、照明を休止し、消費電力の低減をはかります。（デフォルト60秒）

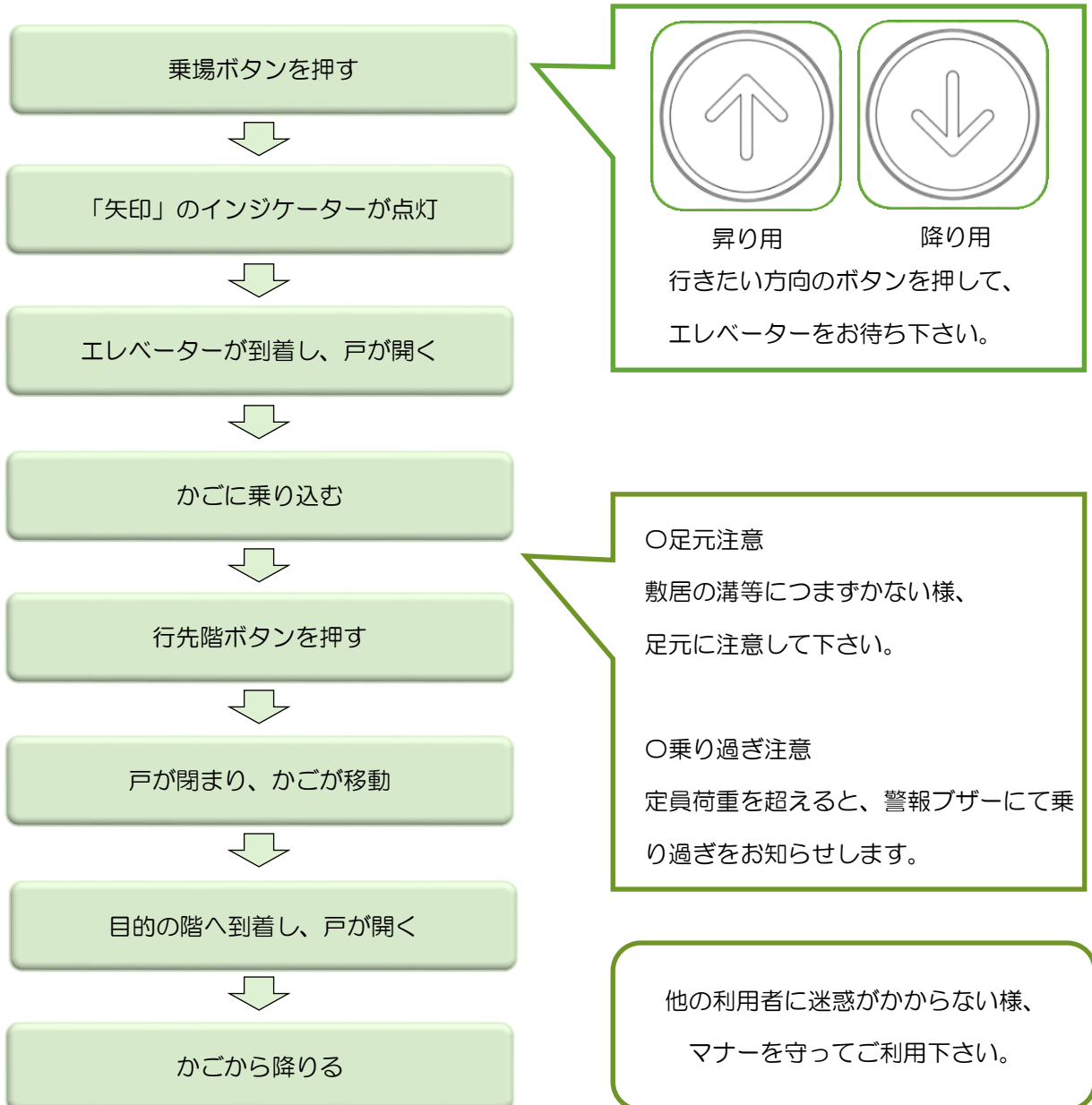
4.2. オプション仕様

停電時自動着床運転	停電が発生した場合、電源をバッテリーに切替え最寄階に自動で到着し利用者を救出したのち停止させます。
火災時管制運転	火災が発生した場合、非難階に自動で到着し利用者を救出したのち停止させます。
車いす兼用仕様	兼用操作盤、かご内鏡、手すり、ドアセンサー、敷居間ギャップ等を装備します。
視聴覚障害者対応 (音声アナウンス)	点字表示、音声アナウンス等を装備します。
戸挟まれ防止機能 エリアセンサー	乗降している際、当該センサーをさえぎることにより、戸が閉まってきません。※強制戸閉機能なしの場合
サービス切り離し機能 (キースイッチ、カード)	キースイッチ、カード操作によって、かご内の行先階ボタンを無効にします。
サービス切り離し機能 (警備・ドアロック連動)	警備盤、オートドア等の操作によって、かご内の行先階ボタンを無効にします。(外部会社連動)
暗証行先階呼び登録機能	かご内操作盤で暗証登録することで行先階を登録できます。
かご行先階ボタン キャンセル機能	かご内操作盤の行先階ボタンを間違えて押した時、そのボタンを2回続けて押すとキャンセルができます。
戸開閉警告ブザー	戸開閉の動作開始時または動作中等に注意喚起としてブザーを鳴動させます。(主に荷物用、人荷用に使用)
非接触行先階呼び登録機能	ボタンに触れず行先階、乗場呼び釦を登録できます。
直通運転機能 (VIP運転)	専用運転と同じくかご内行先階を優先して直通運転をします。
足元警告ランプ	足元の警告ランプを点滅させてつまずき防止をうながします

5. ご利用方法

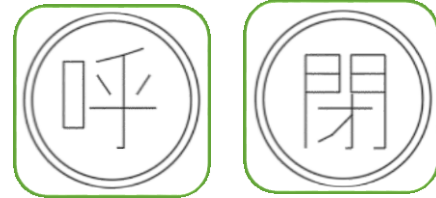
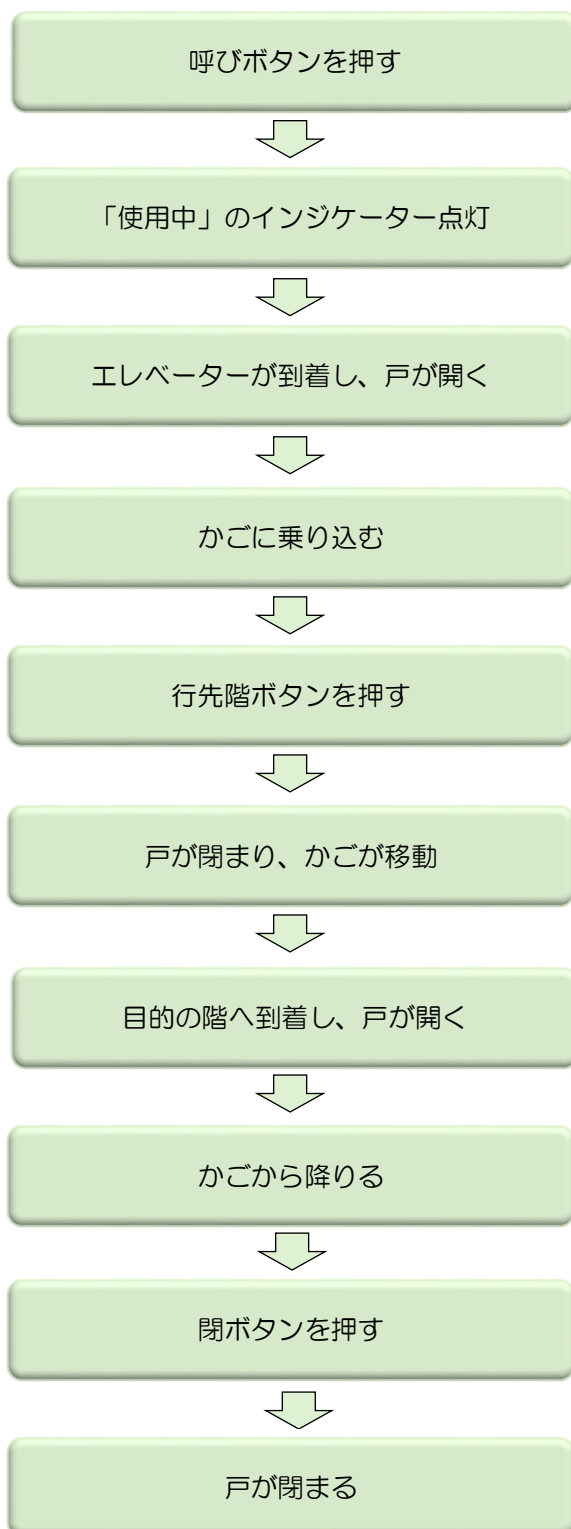
5.1. 乗用または人荷用エレベーターの場合（方向性乗合全自動方式）

乗場ボタンとかご行先階ボタンを操作するだけで、エレベーターの一連の操作は全て自動で運行します。



5.2. 荷物・自動車用エレベーターの場合（単式自動方式）

乗場ボタンに昇降の区別はなく、1つの呼びにのみ応答して、他階では呼びを登録することができません。かご行先階ボタンを押すか、乗場閉ボタンを操作することにより、かご戸を閉めることができます。エレベーター使用后、乗場「閉」ボタンによる戸閉めにご注意ください。

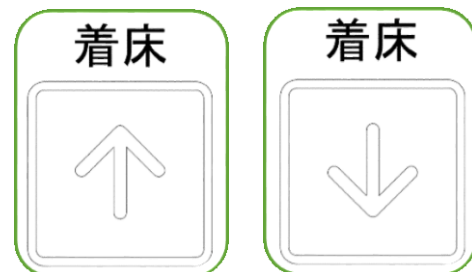


呼びボタン

閉ボタン

エレベーターをご利用の場合は、呼びボタンを押してお待ちください

○足元注意
敷居の溝等につまずかない様、
足元に注意して下さい。



<オプション>

かごから降りる際に段差が生じている場合は、着床ボタンにてかご位置を調整してください。

他の利用者に迷惑がかからない様、
マナーを守ってご利用下さい。

5.3. 非常用エレベーターの場合（非常運転）

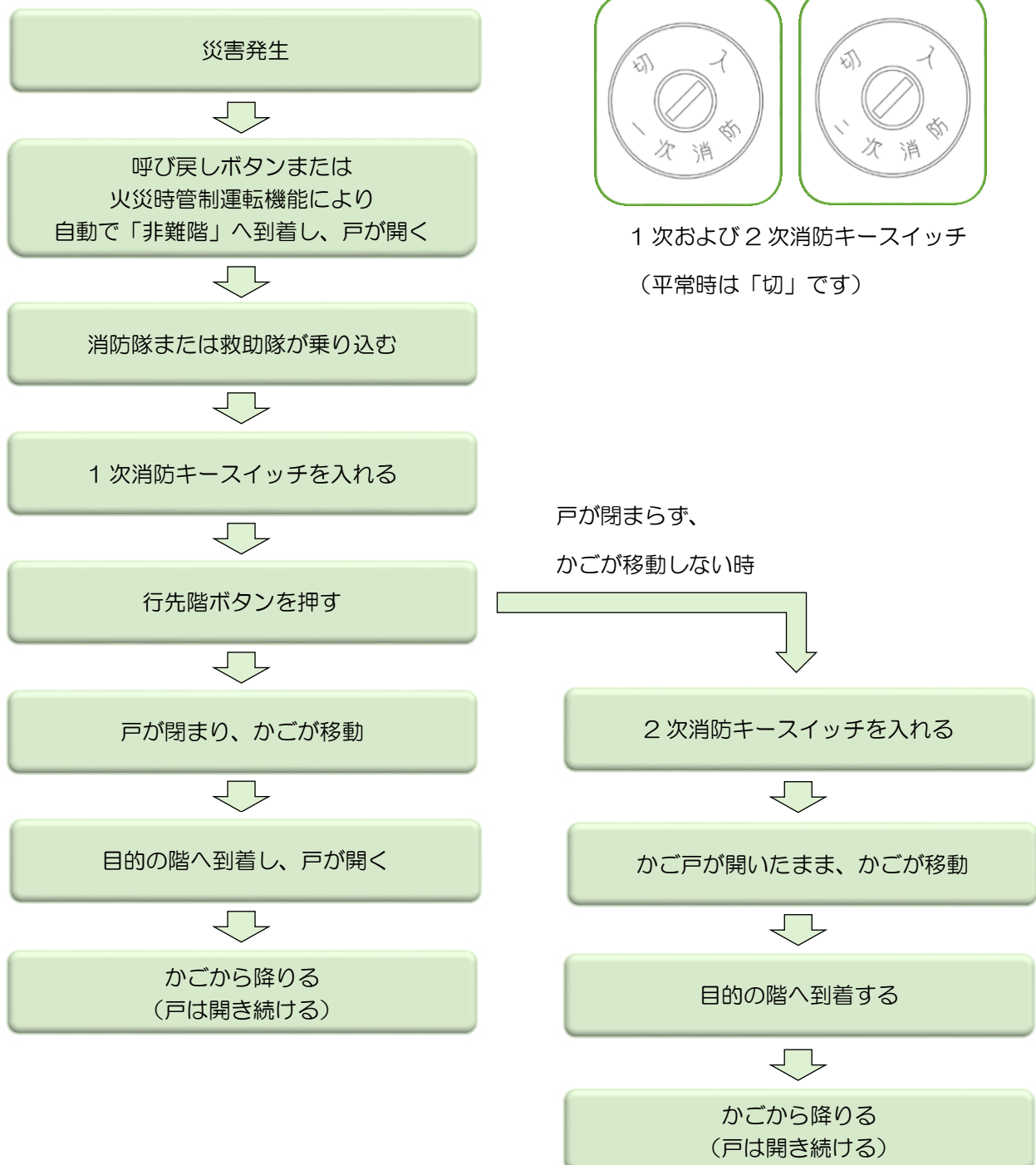
平常時は、乗用または人荷用エレベーターと同じ操作方法です。

災害が発生した場合、乗場ロビーまたは管制室の呼び戻しボタンにより、呼び戻し階に待機します。

1次消防キースイッチにより、かご行先階ボタンのみ登録可能になります。また、2次消防キースイッチにより、乗場戸が閉鎖しなくてもかご戸を開いたまま運行可能になります。

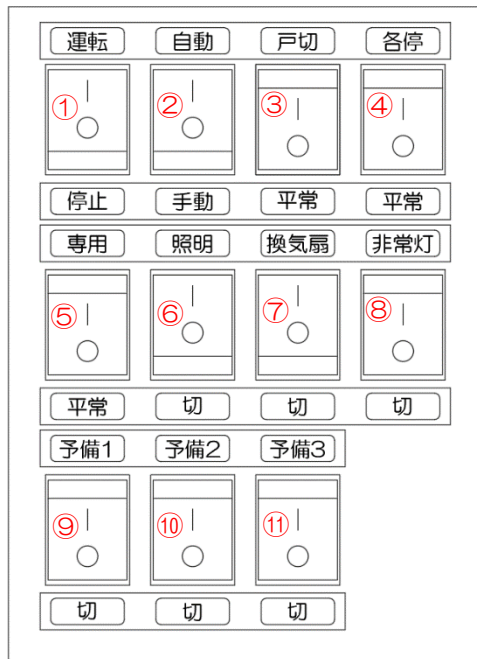
非常時は、一般の方のご利用はできません。

<災害発生時>

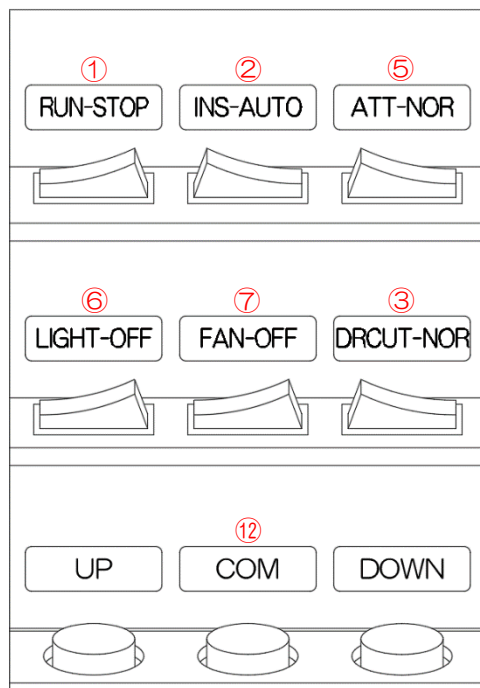


6. かご内操作盤スイッチボックス

操作盤下部のスイッチボックスの操作スイッチで、エレベーターの機能を管理することが可能です。



操作スイッチ配置 (例 1)
(平常運転状態)



操作スイッチ配置 (例 2)
(平常運転状態)



注意

各スイッチは使用後、上記の平常運転状態に戻して下さい。

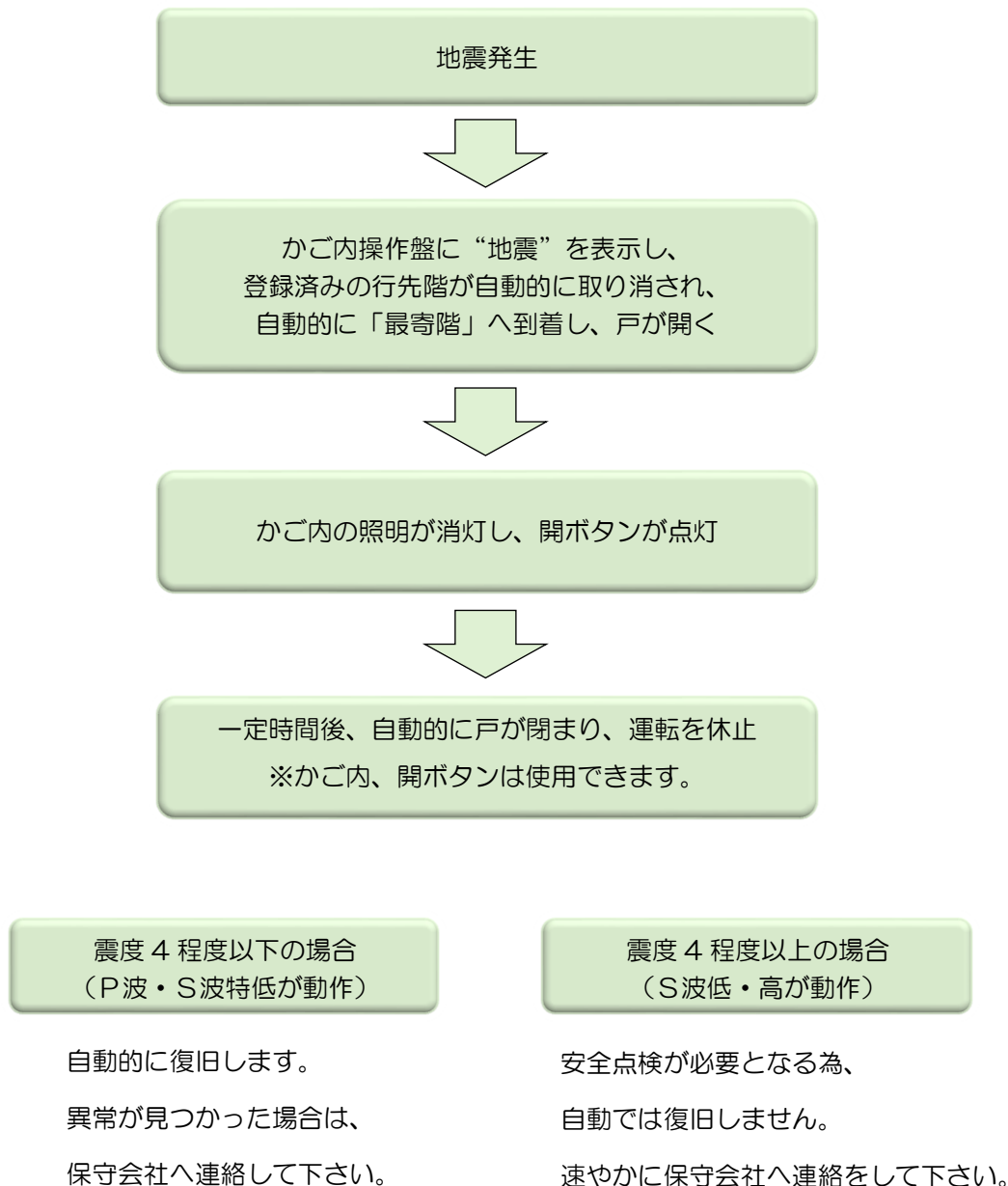
- ① 運転—停止スイッチ（保守員専用）
運転／停止を切替えます。
- ② 自動—手動スイッチ（保守員専用）
保守員が点検時に操作する専用のスイッチです。
- ③ 戸切スイッチ（保守員専用）
保守員が戸の点検等に操作する専用のスイッチです。
- ④ 各階停止スイッチ
行先階までの間、各階全てに止まります。
また、通常よりも戸開時間が長く、操作盤戸閉ボタンは使用できません。
- ⑤ 専用運転スイッチ
エレベーターの操作をかご内操作盤のみで行います。乗場呼びボタンに 응답しない為、一般利用者はエレベーターを利用できません。
- ⑥ 照明スイッチ
照明の入／切ができます。
- ⑦ 換気扇スイッチ
換気扇の入／切ができます。
- ⑧ 非常灯スイッチ
保守員が非常灯を確認する為のスイッチです。
- ⑨、⑩、⑪ 予備スイッチ
機能追加に使用します。使用していない場合すべて [切] にしてください。
予備スイッチ 1 : _____
予備スイッチ 2 : _____
予備スイッチ 3 : _____
- ⑫ 手動運転スイッチ（保守員専用）
保守員が手動運転時に操作する専用のスイッチです。

7. 緊急時の対応（地震・火災・停電時）

地震や火災等の災害時、管理者によるかご内の利用者への対応が重要となる場合があります。

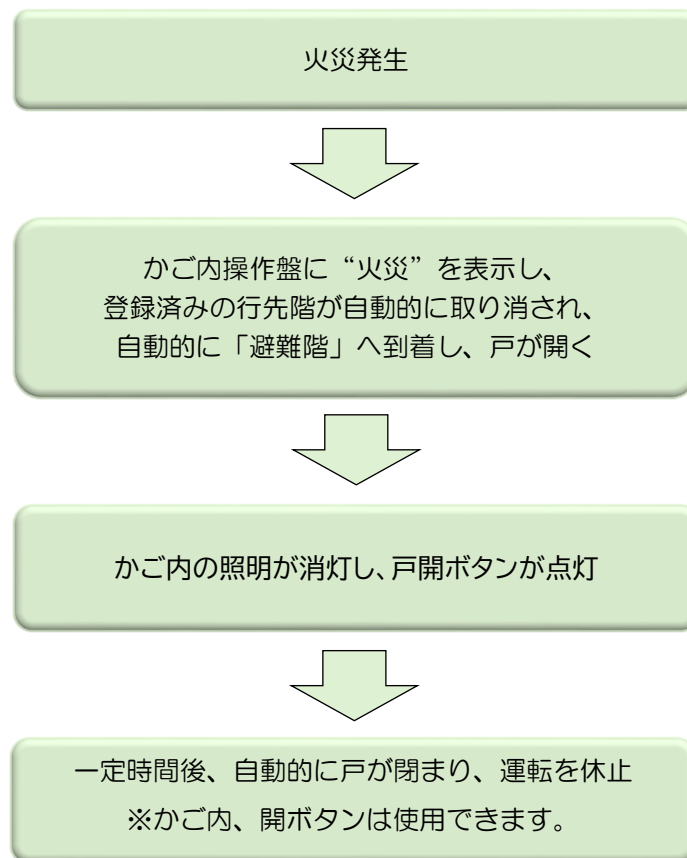
緊急時には、安全に最新の注意を払い、最善の処置をお願いいたします。

7.1. 地震発生時



7.2. 火災発生時

7.2.1. 火災時管制運転付の場合（オプション）



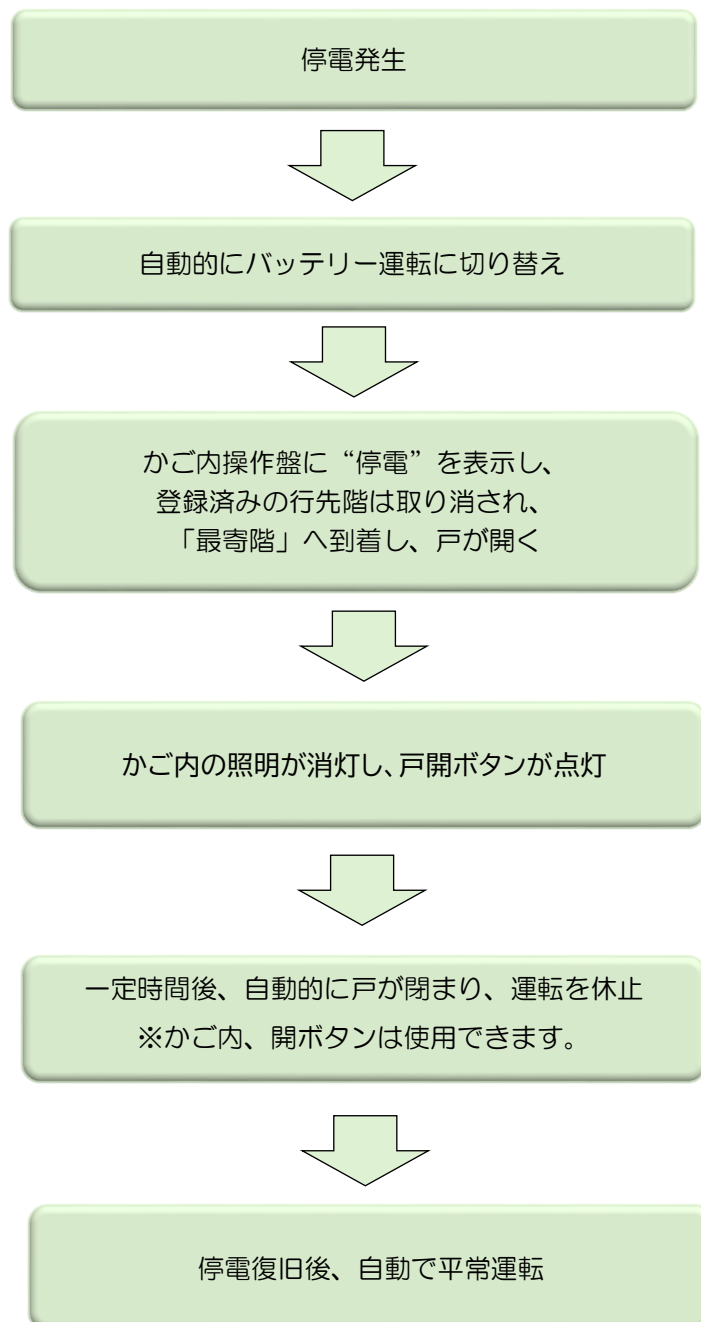
7.2.2. 火災時管制運転無しの場合

利用者をインターホンで誘導し、非難階に退避させてください。

かご内に利用者がいないことを確かめてから、速やかに保守会社に連絡してください。

7.3. 停電発生時

7.3.1. 停電時自動着床運転ありの場合（オプション）



7.3.2. 停電時自動着床運転なしの場合

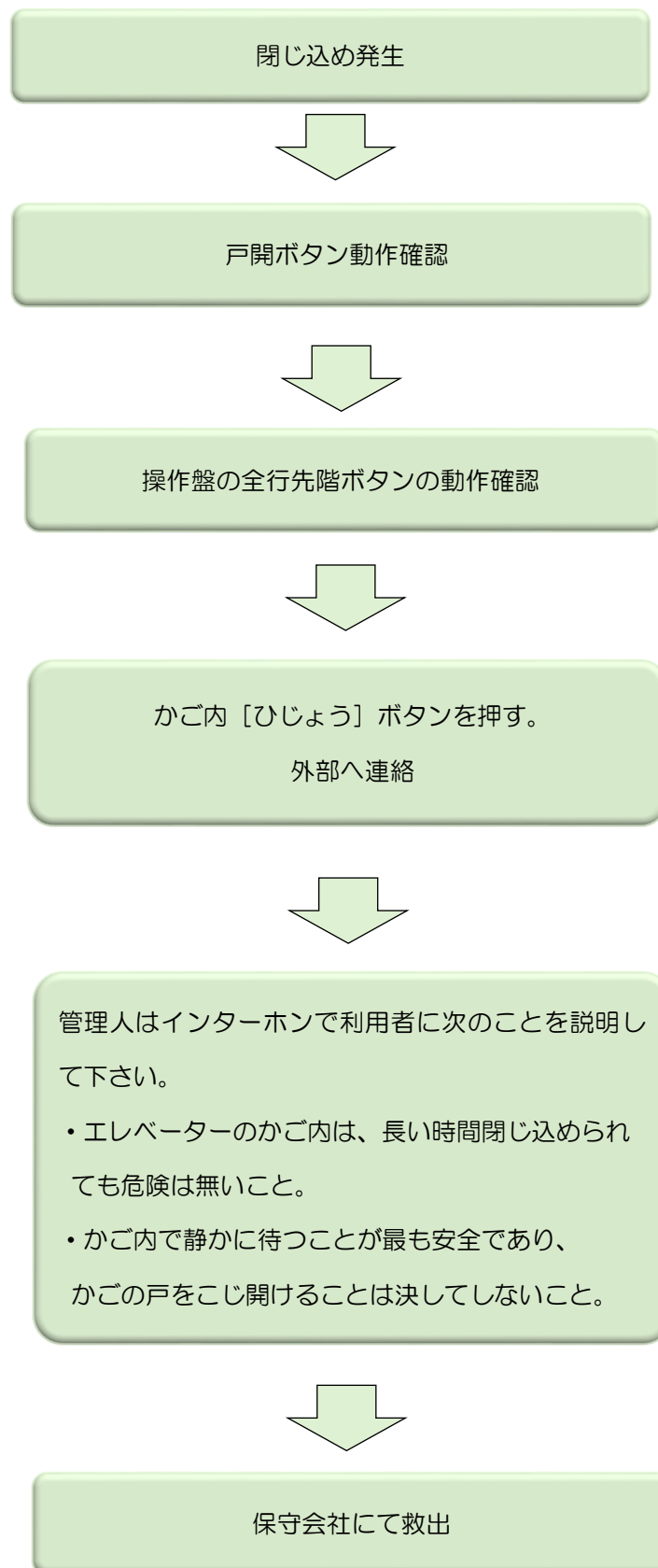
利用者がかご内に閉じ込められた場合、速やかに保守会社に連絡してください。

また、保守員が到着するまで、管理人様はインターホンで利用者に次のことを説明してください
(インターホンは停電時でも約30分間使用可能です)。

- エレベーターのかご内は、閉じ込められても危険は無いこと。
- かご内で静かに待つことが最も安全であり、外に出る為にかごの戸をこじ開けることは決してしないこと。

8. 閉じ込め発生時

閉じ込められた場合



9. 保守管理と手入れ

9.1. 保守管理

エレベーターは安全性の維持に努めるよう、法令で義務付けられています。

保守点検は保守会社が定期的に行いますが、ビル管理者による日常の保守管理も非常に大切です。

日常の点検や巡回を随時行ってください。

- 1日のはじめに1往復運転をして、異常がないか確認してください。
- かが内照明および押しボタンのランプ切れがないか確認してください。
- 非常用インターホン・非常灯に異常がないか確認してください。

- 各階乗場付近及び機械室には荷物を置かないでください。
災害時、非難や救出作業及び点検・故障発生時、作業の妨げになります。
- 乗場とかごの敷居溝は、常にきれいに清掃しておいてください。
溝に泥やゴミが詰まったまま放置すると、戸が円滑に動かなくなり、故障の原因になります。
- かが内の床及び乗場を清掃する場合、水は流さないでください。
昇降路内に水が流れ込むと、故障の原因になります。
- 荷物を運ぶ場合、かがや乗場付近、戸に荷物が当たらないよう注意してください。
機器の破損や、故障の原因になります。
- 機械室の温度が40度を超えないよう、換気扇等で温度調整してください。
高温により、故障が発生する場合があります。
- 冬場でも、かが内のファンをたまに動作させることにより、急な不調を防止することができます。
かが内ファンを「切」る10月～4月の間でも月に一度1時間程度、点検運転をしてください。



昇降路内には立ち入らないで下さい。

機械室に設置されている機器の可動部には、十分に注意して下さい。

機器の修理・改造・分解はしないで下さい。

9.2. 手入れ

汚れの状態	手入れ方法
ちりやホコリ	ホウキ等で掃き取ってください。
手あか、インク等による汚れ	よく絞ったモップかぞうきんでふき取ってください。 汚れがひどい時は、中性の石鹼水をぞうきんに浸し、拭いてください。
クレヨンやペンキ等 中性洗剤で落ちない汚れ	工業用ホワイトガソリンで汚れを落とし、中性洗剤で拭き取った後、水拭きします。最後に幹拭きしてください。 (注) 工業用ホワイトガソリンの代わりにシンナーや自動車等の燃料に使うガソリンを用いることは、絶対に避けてください。 シンナーでは塗装面がはげてきます。 火気には十分ご注意ください。
塗装面の頑固な汚れ	シリコンつや出し液（シリコンポリッシュ水溶性、#3000 以上のもの）をご使用ください。 シリコンつや出し液は汚れた箇所にできるだけ薄く塗布し、水拭きしてください。 その後、丁寧に幹拭きしてください。 (注) つや出し液はあまり頻繁に使用すると塗装面に悪影響があります。
操作盤ボタンの除菌	水に薄めた中性洗剤を布に含ませ、やさしくボタン表面をふき取ってください。絶対に除菌剤をスプレー等で直接ボタンへ吹きかけないでください。故障の恐れがあります。



アルカリ性の石鹼水、油性またはシンナー等を含有した洗剤の使用は、おやめ下さい。

10. こんなときは

故障の状況によっては、簡単な作業で復旧ができますので、確認をお願いします。

- **停止時にかご照明が切れているもしくは戸が開くと同時に照明が点灯する**
省エネ機能によりかご内照明が制御されています。故障ではありません。
- **戸や敷居に異物が挟まって戸が動かなくなった**
戸開ボタンまたは乗場ボタンを押して戸を開き、敷居の溝に異物がないか確認してください。
ゴミ等が詰まっていたら取り除いてください。
- **押しボタンが点灯しないまたは、点灯しっぱなし**
ランプが点かないボタンを何度か押して、エレベーターが動くかどうか確認してください。
もしくはランプが消えるか確認してください。
- **かご内操作盤スイッチパネルのスイッチを使用して元にもどしても正常にもどらない**
スイッチの戻し忘れがないか確認してください。
- **乗り場の表示機に「点検中」を表示してすぐに動かない時がある**
自動点検を実施している場合があります。しばらくお待ちいただいでご利用ください。

以上の確認を行っても正常に動作しない場合は、保守会社へ連絡してください。

- **照明が切れた**
- **敷居のすき間から物を落としてしまった**
- **落雷や建築設備の点検の後、動作がおかしくなった**
- **異音や振動がした**
- **段差が発生した**

小さな故障でも、初期対応次第では大きな故障に発展する恐れがあります。また専門技術者以外の方が昇降路内に立ち入ることは非常に危険です。速やかに保守会社へ連絡してください。

11. 昇降機管理の関係法令

国土交通省は、エレベーター等の安全性を維持する為に、法令、指針について以下の内容を策定しています。

「昇降機の適切な維持管理に関する指針」
～エレベーター等の安全性を維持するために～

昇降機（エレベーターやエスカレーター）の安全性を維持する為には、所有者・管理者、保守点検業者および製造業者がそれぞれの役割を認識した上で、適切な維持管理を行うことが必要です。

- ・所有者・管理者が昇降機の適切な維持管理の為になすべき事項、保守点検業者の選定にあたって留意すべきこと項等を取りまとめた「正気の適切な維持管理に関する指針」
- ・エレベーターに関する専門的な知識を有していない所有者・管理者が、保守点検業者と契約する際に参考となる「エレベーター保守・点検業務標準契約書」

12. 保守会社へ連絡する場合



保守会社へ連絡する場合は次の項目をご確認下さい。

- ① ビル名と所在地
- ② エレベーターの管理番号
- ③ 連絡者の氏名と電話番号
- ④ エレベーターの状況
- ⑤ エレベーターの停止階
- ⑥ かご内の利用者の有無（人数）

緊急時の問い合わせ先

エス・イー・シーエレベーター株式会社
〒110-0016 東京都台東区台東 3-18-3 SECビル
緊急監視センター 03-5688-8967

製品についての問い合わせ先

エス・イー・シーエレベーター株式会社 東京本社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-3-3 SECエレベータービル2
TEL：03-5256-1171（代）
FAX：03-5256-1172